



## 『ウクライナ戦争』が問いかけるもの 一次の世代に伝えていくべきこと

ロシアによるウクライナへの武力侵攻（「ウクライナ戦争」）は、ロシア連邦の最高権力者プーチンの国家観や歴史観が非常に大きな影響を及ぼす戦争として、世界大戦を超える深刻さと脅威を世界中に拡散しました。本講義では、さほど多くが語られていない歴史、宗教、地政経学という3つの視角から「ウクライナ戦争」の基本性格を明らかにしたいと考えています。

木曜日開講

10:00～11:30

1	7月13日	歴史の視点から見る「ウクライナ戦争」 ーウクライナの歴史に見る「7つの転機」
2	7月20日	宗教の視点から見る「ウクライナ戦争」 ーキリスト教国ウクライナの「多様性」と「混在性」
3	7月27日	地政経学の視点から見る「ウクライナ戦争」 ー「キエフ・ルーシ」の正統性とは何か、その根拠はどこにあるのか？

### 講師

家本 博一

名古屋学院大学名誉教授、博士（経済学）。

1991年4月～2021年3月 名古屋学院大学大学院経済経営研究科・経済学部教授。

旧ソ連邦・東欧諸国での留学を含む長期・短期の現地滞在経験は数多い。

### 講義の対象

興味のある方ならどなたでも

### 受講者へのメッセージ

講義の中で様々なネット情報、サイトを紹介します。

可能な限りその都度確認し、理解を深めていただきたいと思います。

### 定員

15名

### 受講料

3,000円